

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の報告

令和3年5月に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。この調査結果を今後の指針として、児童一人ひとりの力を付けることに、引き続き取り組んでまいります。

◇よい状況と考えられる内容

◆指導改善が必要と考えられる内容

1 教科学習状況調査結果より**両教科とも全国平均・神奈川県平均とほぼ同等の正答率といえる。**

- ＜国語＞ ◇目的を意識して中心となる語や文を見付け、要約する力が全国平均に比べて高い。
◇目的に応じて、話の内容が明確になる構成を考える力が全国平均より高い。
◆目的や意図に応じ、資料を使って話すかに課題がある。
◆漢字を文の中で正しく使う力が弱い。

- ＜算数＞ ◇道のりと時間の関係について考察する力は全国平均より高い。
◇棒グラフから項目間の関係を読み取る力が全国平均より高い。
◇データを二次元の表に分類する力が高い。
◆小数を用いた倍についての説明を解釈する力が弱い。
◆帯グラフで表されたデータの特徴を記述するかに課題がある。
◆立式や商の意味について正しく理解する力が弱い。

2 生活・学習習慣調査結果より

- ＜生活＞ ◇自分には、よいところがあると思う児童が全国平均よりも多い。
◇難しいことでも失敗を恐れず挑戦している児童が全国平均より多い。
◇自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている児童が全国平均に比べて多い。
- ＜国語＞ ◇国語の学習が大切と感じ、将来社会に出たときに役立つと感じている児童が多い。
◇国語の授業では、自分の考えを広げられていると感じている児童が多い。
- ＜算数＞ ◇算数の学習が大切であると9割以上の児童が答え、それを生活の中で活用できないかと考えている。
◇算数の授業で解き方や考え方が明確になるようにノートに書くことを意識している児童が多い。

3 今後の取組 指導・改善が必要と考えられる点の中から、特に、次の点に力を入れて指導します。

- ＜国語＞ ・友達と思いや考えを伝え合う機会をさらに増やし、自分の考えをまとめ発信する場を増やします。
・身に付けたい力に関連する内容の書籍にふれる機会をつくり、読書時間が増えるよう働きかけます。
- ＜算数＞ ・グラフや表など解釈を要する問題に粘り強く取り組む機会を多く設けます。
・補足的な支援を行い、全児童に分かりやすい授業を目指します。